

取組の概要

全従業員が安全・健康に働けるようにするため ①メタボリックシンドローム（予備軍含む）の減少 ②健診・検診の受診率向上 ③健康管理データベースの作成 を目標に掲げ、従業員の健康づくりや働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

会社について

人数：98名
年齢層：10～60歳代
活動年数：11年5ヶ月
(週1回以上)

取組の詳細

- 健康診断・がん検診**：健康診断結果は家族確認書を添付し家族にも確認してもらっている。また、有所見者に対しては受診勧奨を行い、再検査結果報告書の提出により受診の確認をしている。未提出者には再度受診勧奨を行っている。35歳以上には胃・肺・大腸がん検診受診、女性には乳がん・子宮頸がんの費用助成も行っている。受診しやすくするため、柔軟な休暇制度（傷病休暇制度、時間単位年休取得制度等）を設けている。
- 始業時のラジオ体操実施**：週1回程度行っていたラジオ体操を、令和3年度から毎朝実施している。
- たばこ対策への取組**：喫煙室には禁煙ポスターを掲示して禁煙を奨励している。令和3年は「たばこ対策取組宣言」を提出し、年1回「たばこに関する研修会」を開催し全従業員が受講できるようにしている。
- その他**：健康機器の設置（血圧計、マッサージチェア、ルームランナーなど）、社内イントラネットでの健康情報発信、心の健康相談窓口の周知、インフルエンザ予防接種を全従業員に実施（費用全額助成）



<主体性>

3つの目標を掲げ、健康づくりに取り組んでいる。
社内で健診結果をデータベース化し、再診指示通知等の管理を行うとともに、受診がしやすい休暇制度を設け、健診結果により再診や治療が必要な社員が受診し、疾病が重症化しないような環境づくりをしている。

<独自性>

社内イントラネットを活用した健康情報の発信や始業時のラジオ体操、血圧計やマッサージチェア、ルームランナー等健康機器の設置、がん検診受診体制など、社員の健康づくりを支援する環境を整えている。また、たばこに関する研修会を開催し、健康について考える機会を設けるなど、健康づくりの意識を高めるための環境づくりをしている。

<地域貢献度>

衛生管理者を中心に社内での健康づくり体制や環境が整っており、健診の再検査実施率は健康づくりの取組を始める前と比較し30%以上向上しており、取組の成果もでてい。社員の健康づくりを支援する体制や健康づくり意識を高める取組ができおり、他の事業所の模範となる取組である。

<将来性>

健康づくりの支援体制ができており、今後も健康診断結果等からみえる課題を分析し、課題解決への取組を行っていくことで、一層充実した健康づくりの取組になることが期待できる。

PR ポイント

- 社内で健診結果をデータベース管理し、再検査や受診の勧奨するなど社員の健康づくりを支援する体制が整っている。
- がん検診の費用助成、受診のための休暇制度、毎日のラジオ体操実施、健康機器の設置、イントラネットによる情報発信や研修会の実施など社内で健康づくりの意識を高める環境を整えている。
- 健診の再検査実施率は、健康づくりの取組を始める前と比較し30%以上向上している。